

An illustration of a caterpillar with a dark, irregularly shaped protrusion on its back.

ハ木川の自然

詩言散

(出田) *Camellia japonica*
やぶつばき

地域の持つている教育力を学校へ
(堀川八木山 小学校校長)

各務原市社会福祉協議会八木山連合支部

感行事の帛密さに
心じします

(高橋会長) 本日はお忙しい中
有り難うございます。早速です
が、まちづくり協議会への感想
をお聞かせ下さい。

(堀川校長) どの行事も綿密に
計画され、それを確実に実践さ
れることに感心しています。

地域連帯の中核として奉仕の
精神がタップリと出されていま
すね。

(堀川校長) 平成七・八年度の文部省の指定校になりました。一つは「豊かな心づくり」で思いいやりの心と福祉の心を育てるたい。二つ目として「自主自立」で自主性を育てたいと願っています。特別活動の中の集会活動で、まず自分たちでだけで失敗を重ねながらでも、やり通していくれる子を育てたいと思っています。殆ど先生の手を借りないで。

平均年齢は五十才をこえ、また六十才以上の方も六百人をこえました。 小子化の影響も大きいと聞いていますが、児童数は今後どのように変化していきますか？

(一堀川校長) 八年度は四年生以下が2クラス、五・六年が3クラスです。九年度は新一年生は四十人。十年度は三十一人となります。

が、七年度全校児童数は四九四人が、現在の予定では十年度には

吾子之不見也

『八木山だより』
No.9 1996・2 発行
発行者 高橋 正⁷⁰⁻⁵⁵⁶⁶
事務局 ☎70-0863 (蛭川
☎84-2678 (辻岡
連絡先 森 高理(771) ☎84-980
金子幸治(松) ☎70-165
小倉一心(771) ☎84-515
平松重雄(松) ☎85-028

へ学校力を育てる

木山まちづくり協議会 共同製作

中日韓三国語比較

(高橋まちづくり
協議会会長)

堀川八木山小学校校長と高橋
まちづくり協議会会长との新春
対談が一月二十四日に、編集部
主催で行われました。

今後の地域と学校教育との在
り方や、要望など深く話し合つ
ていだだきました。

失敗を重ねて
やり通して、いける子に



八木山は高齢・小子化へ 減少は市内一番の速度

(堀川校長) 今後も登山道の整備を

(堀川校長)

堀川校長) 八木山活動として
然に触れ合う学習をしていま
が、地域の方々には、登山道
整備草刈りをしていただき、
変助かっています。できるな
今後もよろしくお願ひした
ですが。

高齢者の方々の活動の場として

(高橋会長) 定年退職された方や、元気な方が大勢みえます。地域の技能、知識などを将来に生かすことができます。それこそ三世代が一緒に暮らす、地域と学校との新しい教育の場になります。

高齢者の方々の活躍できる場ができますし、素晴らしいアイデアだと思います。ぜひ実現したいのですね。

この八木山を思いやり(愛)のあふれる“まち”にしていきたいと願っています。

本日は有り難うございました。

(高橋会長) 今後も市民清掃時に山道の整備を進めて行きたいと考えています。また、市・県と調整し、住民の皆さんのが賛同を得て、できれば「松」とは別に木を植林したいですね。

(堀川校長) 学校・家庭・地域教育。この三者の連係を深める事が大切と常に思っています。地域の持つ教育の導入、これは八木山の伝統的な良さであると思います。

次のお願いは、この町の中には素晴らしい知識と経験、能力をおもちの方が多数お見えになります。例えば英会話とか、手話、趣味、語り部など。

そちらの方々が地域の教材として、クラブ活動等にボランティアでご指導いただく。このような事も希望しています。

